

シャープ社友会 栃木支部会報

第31号

nikko

2013.1.1 発行
発行責任者 増田武司

<http://www.tcg-syayu.co-site.jp/index.html>



日光「並び地蔵」

撮影：山口重一（会員番号4104）

平成二十五年を迎えて

シャープ社友会 栃木支部長

増田 武司

新年あけましておめでとうございます。



平成二十五年の新しい年を会員の皆様には穏やかに迎えたいと存じます。昨年を振り返ってみますと、年の前半は活動計画をほぼ予定通り進めることが

出来ました。

四月には春の懇親行事に四十六人が参加され「花見とバーベキュー」を楽しみました。五月の「定期総会」には九十人の会員の皆様が出席され議案を審議いただきました。

また、六月にはシャープ供養廟の改築に伴う募金の依頼に対し、多くの会員の方からのご寄進がありましたこと、改めてお礼を申し上げます。

一方、八月には、会社の経営環境が厳しい状況になつていくことがマスコミ報道され、社内報「madeo」でも現況について説明されました。

この逆境に対して、我々社友会としてできることはシャープ商品を多く購入することの考えで、九月の「蚤の市」、十二月の「年末セール」には案内ビラを送付し参加要請を行いました。継続してバイシャープ運動にご協力をお願いします。

さて、本年も計画通り、一月には「支部賀詞交歓会」を例年の内容で実施します。四月には「花見とバーベキュー」も予定しています。

一方、SGC（シャープ・グリーン・クラブ）の活動は継続します。特に「川崎城跡公園」の草刈については、実質的に社友会メンバーだけが参加しているのので、これを社友会活動の一つとして継続すると共に地域へ貢献できるようボランティア活動にも取り組みます。

五月には定期総会を開催します。今年は各地区の幹事さんが代わります。地区内の会員の方との「つなぎ役」を担当いただきますので、よろしく協力お願いします。

私は、社友会は会員の皆様が楽しく日々を過ごす一つの手段として活用いただければ、と考えています。昔の仲間や気の合った同士で時を過ごすのも心身の健康維持に結びつくのではないかと思います。社友会活動が一層活発になりますよう今年も皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

この一年が平穏で明るい年でありますようお願いしています。

シャープ労働組合 栃木支部

執行委員長 印南 幸裕



新年あけましておめでとうございます。社友会栃木支部の皆様方には、つつがなく新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

日頃は、増田支部長をはじめ多くの皆様に労働組合の活動に對しまして、ご理解とご協力を頂いている事に心より感謝申し上げます。

昨年は、シャープの関係者にとって激動の一年間でした。3月の期末決算で過去最大の赤字となり生活に直結する賃金カットを余儀なくされました。しかし経営の回復には至らず、追加でさらなる賃金カット、冬・夏の一時金の半減、国内二千名を超える希望退職の実施など痛みを伴う施策が続きました。これからのいろいろな施策が出てくるのが予想されますが、会社の再生に向けた取り組みと、黒字化に向けた対応に努力したいと思ひます。

また、放射能の指定廃棄物の最終処分場の候補地として矢板市塩田に指定され、近隣地域を含め白紙撤回の運動が市民運動として高まっています。その中で、「中村ひさのぶ」組織内議員も議会の副議長として、役割をしっかりと果たしてくれています。

矢板市としては、シャープ製品の購入支援策を決定頂いています。シャープに対する行政や地域からの支援には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これらの心温まる支援に報いるには、シャープが経営の危機を乗り越え元気になることだと思います。そのために引き続き努力していきますので、社友会の皆様には引き続きのご支援をお願い致します。

シャープ社友会の益々の発展と会員皆様のご健勝と今年は皆様にとって良い年になりますようにご祈念申し上げます。



デジタル情報家電事業本部長

執行役員

毛利 雅之



新年明けましておめでとございます。

社友会栃木支部の皆様方には、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃よりシャープ製品のご愛用や当社社員に対するご指導、ご鞭撻を賜り、会社を代表して厚く御礼を申し上げます。

さて昨年は、大変厳しい経営環境となり、当社は創業一〇〇周年という節目の年でありながら、かつて経験をしたことがない大幅な業績低迷を招くこととなりました。

栃木事業所に於きましても、生産規模の縮小を余儀なくされると共に、会社再建に向けた全社的な取り組みの中で、多くの希望退職者を出すこととなり、社友会の皆様方には、大変ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

規模こそ縮小しましたが、この栃木事業所で、今後も国内向け的大型液晶テレビを中心に、競争力のある商品の生産活動に取り組むと共に、グローバルな事業拡大に向けてのコア拠点として再起を図って参ります。また、希望退職をされた方々に対しては、新たな道で再出発できるよう全面的な支援をして参る所存です。

新年を迎え、「信頼と業績の回復」に向けて、全社一丸となって事業構造改革に取り組んで参りますが、

そのために、一人ひとりの社員が互いに知恵を出し合い、栃木事業所の底力を発揮して、新たな成長軌道に乗せて参りたいと考えております。

幸いにも、液晶テレビは世界で約二億台もの需要規模があり、新興国を中心に今後も伸長が予測されています。また、当社が強みを発揮する大型液晶テレビは、米国、中国をはじめ国内でも着実に需要が拡大しています。

当社は、グローバルに展開する液晶テレビ事業を、今後も主軸事業として位置付け、A V関連機器のより一層の事業拡大を図るべく取り組んで参ります。

さらに、昨年十月には、通信システム事業本部より、電卓、電子辞書、ファクシミリ等の事業分野を担当するモバイルソリューション事業部を編入し、本部名を「A Vシステム事業本部」から「デジタル情報家電事業本部」に改称しました。A Vと情報通信を融合した新規カテゴリー商品を創出し新たな需要の創造を図って参ります。

本年も先行きは、まだまだ不透明ですが、幾度も困難を乗り越えてこられた先輩方の不屈の精神を受け継ぎ、「誠意と創意」の経営信条に基づき、新しいモノづくり、新しいマネジメントに懸命に取り組み、会社の再建を果たして参りたいと存じますので、引き続き皆様方の叱咤激励を頂戴したいと思います。

最後にシャープ社友会栃木支部の益々のご発展、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



矢板市がシャープを応援

「矢板市民が矢板市内の電気店から『シャープ製家電製品』を購入すると矢板市から助成金が支給される」という施策が十二月から始まっています。

当該施策については、広報やいた（11月15日号）に掲載されたほか、地方紙にも取り上げられており、この申請が順調に伸びて、申請期日（平成25年3月28日）を待たず年末にも助成金は底を尽いて受け付けが打ち切られそうですが、引き続き、シャープ製品の拡販にご協力をお願い致します。

【申請問い合わせ】

矢板市役所 商工林業観光課 43-6211
矢板市のホームページにも詳細情報があります。

シャープ製家電製品を買った方に助成金を交付します

市では、経済対策として、市内電気店でシャープ製の家電製品を購入した方に、助成金を交付します。予算の範囲内での助成となりますので、お早めに申請してください。

対象者／対象となる家電製品の購入額の合計額が、5万円を超える方で、以下のいずれかの要件を満たす方

- ①市内に住民登録があり、市税などの滞納がない18歳以上の方
※ただし、16歳以上で就職している方は交付対象者に含まれます。
- ②市内に事業所があり、市税などの滞納がない法人

申請回数／1人1回

対象となる家電製品／市内家電量販店または小売店において、12月1日(土)から平成25年3月29日(金)までの間に購入したシャープ製の家電製品(新品)で①～⑧のもの

- ①テレビ、②テレビ用録画再生機、③空調用電気製品(エアコン、加湿空気清浄機、空気清浄機、乾燥機、扇風機、除湿機、加湿機、電気暖房機)、④LED照明、⑤台所用電気製品(ウォーターオーブン、IHクッキングヒーター、冷蔵庫、炊飯器、ジュース、オーブンレンジ、電子レンジ、冷凍ストッカー、オーブントースター)、⑥家事用電気製品(洗濯機、掃除機)、⑦電話機(携帯電話機およびスマートフォンは除く)、⑧ファクシミリ

助成額／量販店から購入した場合⇒購入額の20パーセント相当額(上限4万円)

小売店から購入した場合⇒購入額の25パーセント相当額(上限5万円)

※小売店、量販店の両方で購入した場合は、購入金額が大きい方の上限が適用されます。

申請期間／12月3日(月)～平成25年3月29日(金)8:30～17:00 土曜・日曜・祝日を除く

申請方法／交付申請書に必要書類(領収書など)を添えて申請してください。交付申請書は、商工林業観光課や購入したお店などにあります。※交付は、申請受け付け順です。

申請・問い合わせ／商工林業観光課 ☎(43)6211

広報やいた（11月15日号）の抜粋記事

長寿コーナー

古希を迎えて

会員番号 二二三四

初鹿 謙治



シャープでは、矢板に十七年間、大阪に十年間：眠い目をこすりながらネクタイを締めて背広を着て会社に出かけたことも、今は、遙か昔の事に思えます。良き上司、同僚に恵まれ充実した生活を送れました。感謝致しています。

自由な時間を思いっ切り使おうと、定年後の暮らしを楽しみにしていましたが、束縛の無い時空を充たすことはそれなりに、努力が必要ですね。

在職中は、風邪で四〜五日欠勤した位丈夫でしたが、六十五才になってから、大病を二回経験し、仕事も辞めざるを得ず、キッチンと付けを払わされました。

自治会の役員や、ギター・囲碁・歴史探訪等のクラブに所属して何とか忙しく暮らしていますが、慢然たる流れの中に浮かんではいるだけの生活になっています。今後は、目指す山を仮想し一步一步登って行きたいと思っています。

須弥山の有頂天に置く物も決めました。幾ばくかの向上心を持って、気力と体力を何とか後退させぬよう頑張りがら、登って行きます。

古希を迎えて

会員番号 二三七五

西尾 順二



塩原の新湯富士へ登山後
大沼園地にて

定年退職から十年、過ぎて見れば長い様で短い様で・・・時が経つのは早く、十年の間に世の中は変わりました。変わっていないのは、私自身か？ 気持ちも考え方も若い時と同様であるが、悲しいかな体力は徐々に落ちている。この十年間やってきたこと止めたことを思い出しますと、庭のかたすみに小さなキットログハウスを仲間と友人に手伝ってもらい、完成させ書齋にしています。

旅行もしました。ほとんどマイカーで「北海道、関西、東北、広島瀬戸内、西日本」等、運転をして一人旅をしたり、兄とも行きました。時には、石川さゆりの特別公演を楽しんだり、社友会の歩こう会でハイキングに行ったり自然に触れたりもしています。

家庭内では気が向けば料理をし、酒の肴、パスタ等、簡単な物を作ることができるようになりました。止めたことを思い出しますと、まず第一に「タバコ」である。七年前に、ある脳外科医とのかかわりがきつ

かけで止めることができた。体力維持にとテニスをしていたが、五十肩を患いできなくなった。いろいろありますが、アンチエイジングを目指し、気力、好奇心、情熱、そして決断力を常に持ち続け、感性とユーモアを忘れず適度な運動をして、感謝の気持ちで心を掛けて毎日を過ごすと思っています。

古希を迎えて・・・

会員番号 二三七七

中山 弘一



広辞苑で調べると古希とは《人生七十古来稀》とある。昔風に言うときよりも長く生きたということだろうと思う。その約半分を長きにわたりシャープにお世話になったことこれもまた驚きである。他に何かやることがあったらうにと思うがシャープ一筋であった。入社即大阪から栃木への転勤。約七年の海外勤務から帰国後、即退社。これまたおかしな縁である。

退社後海外での再就職も考えたが何かふつきれないものがあり、栃木にとどまり早くも十年が過ぎ古希を迎えたというのが実感である。

現役の頃なかなか隣近所との交流もかなわず、何とかお友達を作らねばと、矢板市の主催する〇〇教室等に参加し、今では会えば「調子はどう」と気軽に声をかけられる仲間もでき親しくお付き合いさせてもらっている。

また在学中、在職中ほとんどお付き合いのなかった先輩方とゴルフを通じ仲良くさせてもらっている。友人、知人、仲間とのつながりは非常にありがたいもの

で大切にしなければ思っている。ただ一人、二人と欠けていくのは残念であるが・・・

某科学者が言っていたことであるが、地球時間の百年は宇宙時間では瞬間である。その瞬間に残された瞬間を楽しく、そして人とのつながりを大事に過ごしたいと思う今日この頃である。

古希に想つ「平凡」と「情性」

会員番号 一三九〇

今西 淳祐



早くも古希。戦後の小学生時代、給食はコッペパンと脱脂粉乳。バターでも付けばおんの字。

金の卵ともてはやされ神武景気、岩戸景気。早川電機の資本金も毎年倍々ゲームの順風満帆。毎年の賃上げも二桁は当たり前（Maxは27%程度あったと記憶）。毎年恒例？のストライキ、労働争議もありました。時は流れオイルショックにドルショック。今日の仕事は草むしり。苦しい時代もありましたが日本経済は見事に立ち直り、バブルの絶頂期へ。右肩上がりの順調な時代をシャープに身を置き定年を全うできた最も幸せな年代であったとつくづく感謝、感謝の昨今です。現役時代歓迎されなかった言葉「情性」。でも、今は違う。アクセルは踏み過ぎず、ブレーキも掛け過ぎず、ただただ平凡に情性よ何時までも・・・と想う今日この頃です。

幸い病氣らしき病氣もなき身体に感謝しながら歩き続けた定年後の「情性」の記録。

・3025万歩余り

日平均 7500歩

・19680km余り 日平均 4・9km
やっと、地球半周弱。「平凡」に「情性」よ続け何時までも・・・

健康維持に励む

会員番号 一三九一

後藤 謙輔



七十歳か！この十年振り返ってみて成果として残るほどの事は何もなかった。

入れ歯三箇所、がん、白内障に黄斑変性、骨折、椎間板ヘルニア、髪の毛の脱毛など治療や手術で病院のお世話になった。他にも気力、体力、記憶力、思考力、忍耐力、視力、聴力そして職場の先輩を始め後輩や友人知人との別れ、そう愛犬まで、この十年の間に変えがたい多くのものをなくした。

今、手元に残っているものは漠然としたやり残しと残り時間それに命かな？

何もやらなくても月日は過ぎる。「もったいないことをした」「後悔先に立たず」とは、このことだ。悔しいが仕方ない。先は見通せないが時代と体力に合わせて省エネルギーで達成できそうな幾つかの目標も見つけた。

さあー喜寿を目指しました社友会の仲間との楽しい出会いが一回でも多く続くよう健康維持と目標達成に励みます。

七十歳は暦の上の年齢

会員番号 二四〇三

福山 和夫



古希のお祝いを頂きありがとう御座いました。

原稿を書くにあたり、先輩の皆さんは「古希を迎えて

どのように感じ、生活されているのか過去の会報「nikko」を読み返してみました。

皆さん共通して云っておられるのは

・ 無事古希を迎えられたことへの感謝

・ 健康維持の為の努力

・ 趣味を生かし楽しんでおられる

・ ボランティアで社会貢献されている etc

皆さん「すごいな！」と感心しております。

私はと云いますと平々凡々と過ごし、気がつけば七十歳になっていたと云うのが実感です。

話しは変わりますが、七十歳も間近の日の日経新聞に野球評論家の豊田泰光さんが野球のコラム欄で、五十九歳までプレーしたという伝説の黒人投手が、年齢に関する質問に「暦の上の年齢がどうした」と問い返したと書いておられました。

この記事を読んで私も「七十歳というのは、あくまでも暦の上だけの年齢」と思うようにしようと心に決めました。

幸い(?)にして、ほとんどの人が、私をみて年齢よりも若く見えると言って下さる（お世辞かも知れませんが）ので、これからは「自分の年齢を知らないかのような人生」を一日でも長く送りたいと思います。

幹事コーナー

「二班の幹事になって思ひ」

第二班幹事 福山 和夫



となります。

会員が増えることは喜ばしいことで、更に皆さん元気で出来る事が何よりです。

現役の時、お世話になった方がほとんどですが、幹事になるまでは近くに居ながら、どこに住んでおられるのか、極近くの数名しか知りませんでした。

幹事になって社内報「窓」やその他の資料を配布するようになって初めて「この方はここに住んでおられるのだ」と分かった次第です。

このような状況ですのでシャープ(株)以外の方とは未だにお付き合いが少なく地域の状況もよく分かっておりません。

(子供が小さい頃は育成会等が有り、それなりに活動しておりましたが・・・)

これからの人生(老後)を有意義に過ごすにはこれではダメなので「もっと地域社会に接し自分の活動範囲を広げなければならない」と資料を配りながら考える今日この頃です。

「我が町の紹介」

第六班幹事 高野 久雄



私達第六班は、矢板市の市街地で上町、扇町の二部本町、鹿島町、富田地区がエリアで二十二名の会員が在住しています。

ここでは私の住む上町(行政区四区)を紹介します。東西南北に五つの通りがあります。

【東西の通り】

①後宿(うしろじゅく)通り

(日光北街道時の名称が現在に残る)

天ぷら菜より本町郵便局間(約640m)

②矢板中学校前通り

県道矢板・大田原線の針生交差点より県道矢板

那須線 矢板中学校入口交差点間(約1.9km)

【南北の通り】

③山田街道

国道四六一号線(俗称本通り)より東泉(鏡山寺)

間(約2.2km) 山田地区へ抜ける

④矢板中学校通り

本町より荒井地区への西間(約1.5km)

⑤県道 矢板・那須線

木幡地区より下太田地区間(約2.5km)

以上がメインとなる通りです。

西側に内川の流れがあり沿道は散歩道として利用されています。我が町には市の文化財に指定された竜の掘り物(作者不明)が飾られた山車があります。竜の彫り物には昔干ばつ時雨乞いの守護神として崇拝されたといういわれがあり、山車巡行時、竜の目に目隠しを

行いお祝いを受けているようです。又、お祝いにつきもののお囃子も四区お囃子保存会が結成されておりシャープOBの方も数名活躍されています。

夏・秋・冬には塩釜神社の祭りが行われ、特に夏祭りは盛大に行われていましたが(御神輿一機・山車七台)近年は少子化・高齢化のあおりを受け担ぎ手・曳き手も減少し縮小されています。

当区では夏祭りにあわせ山車の地区内巡行を継続させています。旧市街地となる当区は生活環境に大きな変化はありませんが、このような文化・伝統は残したいものです。

「心と体を癒すまわり」

第十班幹事 斉藤 誠



昨年春から十班の幹事を仰せつかり現在活動中の斉藤 誠です。担当区は塩谷町の玉生・船生・大宮の十人のメンバーを担当しています。

ます。

さて、私たちの「しおや」の豊かで素敵な自然を紹介したいと思います。尚仁沢湧水は町のシンボルである高原山の中腹に位置し、付近一帯は樹齢数百年に及ぶ原生林に覆われています。名水百選の中で日本一の湧水量を誇っています。四季を通じて水温が十一℃前後と一定しており冬でも湧水や凍結する事もなく動植物に豊かな潤いを与えてくれています。

その他にも佐貫観音など、観る所は数々あります。今後は健康に留意して毎日の活動に努力し頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

「担当地域の紹介と私事」

第十四班幹事 齊藤 清一



十四班の幹事を担当してから早いもので一年半が経ちました。

担当地域は東北本線の東側になり、一区町・二区町・新南・二ツ室・石林・南町・下永田と広範囲にわたり、十六名の班員が在住しております。

学校は大山小学校・西那須野中学校・那須拓陽高等学校・那須清峰高等学校と教育面も充実しております。又、近くには国道四号線から、大田原を経由して、黒羽方面に行ける国道四〇〇号線が二年前に開通し、スーパーも（オータニ・ベイシア・スワストア等）近くにあり、買い物や交通の便もよく住み易い環境です。又、私は関西（大阪）出身で、栃木にはまだ二十五年しか経過しておらず、まして二十五年の内、海外出向が六年、天理へ出向が五年と、十年以上離れており、地域の良い所が、まだまだたくさんあると思います。紹介出来ないのが残念です。

私も定年後、早いもので九年が経過していますが、今の所病気もせず、海外で覚えた好きなゴルフを、気の合う仲間と月に四回から五回程度楽しんでおります。スコアーの方は、長くやっけていても一向に上達せず、100を切るのが精一杯です。ゴルフは私の健康の源であり、ゴルフが無ければ今の様な健康な体で、生活を送っていたかどうか分かりません。これからも体調管理には十二分に留意して、好きなゴルフが何時までも出来るように頑張りたいと思います。

「座観時雲流」

第十七WN班幹事 和田 元良



私の実家の客室に古い書が懸かっていた。

「座観時雲流」

揮毫に鉄舟とある。

真贋は定かではないが、維

新の立役者、山岡鉄舟（一八三六～一八九七年）。無刀流の創始者にして、江戸時代の剣豪、禅を修業し書を良くしたとある。

彼は幕臣ながら西郷隆盛を説得し、勝海舟との会談を成立させ江戸の無血開城へと導いた。

西郷から認められ、後に明治帝の教育係をも務めた人物である。

「座して観る雲流れる時」

彼の晩年、日本帝国主義は大陸へ、そして日清・日露戦争へと続く。激動の世を座視する自分の心境を表したのであろう。

今、私たちの母体シャープの置かれている状況変化は実に厳しく言を持たない。頑張れシャープ。

後輩の若い人達の活躍を心より祈念するものである。



山岡鉄舟

平成二十五年 新班編成計画

栃木支部では新入会・退会・死亡などにより、班内会員数のバラツキが大きくなっていることや事務局預り班（現在の第十九班）の該当者が増えている実態に鑑み、今般、班内会員数と地域割を含めた適正化を目指し現班体制の見直しを行いました。

その結果、東京に近い宇都宮東部地域を第一班とし、概ね北へ順に第一班～第二十班、そして遠隔地在住者を対象とする事務局預り班（第二十一班）までの新しい班編成にすることとなりました。

今回の見直しにより、主には、矢板市内中心部および那須塩原市内の棲み分けが大きく変わったことに加え、新しく『日光・今市班（第二十班）』が設立されています。

この新しい班編成は平成二十五年（平成二十五年四月）より適用することになります。

今回の見直しによる班内メンバーの移動に伴い、幹事・副幹事の当番順が変わられる方がおられますが、現班体制下ではまだ先の予定であったのに急に平成二十五年から幹事・副幹事の役に当たる皆様方につきましては、事務局より直接ご本人に事情を説明し、ご理解とご承諾を得ております。

新班編成に基づく新年度の会員名簿は、三月の資料送付のタイミングに合わせて配布する予定にしております。

一般投稿コーナー

五十年振りの北海道ツーリング

粉川 昌三

昭和三十七年八月友人と一ヶ月余りバイクで北海道を旅したことがあります。大学を卒業しシャープに就職して以降バイクから離れていましたが退職を機にバイクを購入、再度北海道を旅したいと考えていました。しかし諸事にかまけてなかなか機会がありませんでしたが五十年目の節目を理由にし、五十年前と同じ場所写真撮るという副題を持って斉藤順一さんと北海道を巡ってきました。

五十年前は50ccのバイクで陸路青森まで走りテント生活でしたが、今回は、バイクは750ccと大きくし、苫小牧まではフェリーで豪華に、宿は「とほ宿」でのんびり、と少し贅沢な旅をしてきました。開発が進んでいて五十年前の記憶と合致するところは多くありませんでしたがノスタルジックで楽しい旅でした。



昭和37年8月
同行の今は亡き西海孝雄君と支笏湖にて



平成24年8月
同行頂いた斉藤さんと知床峠で

苫小牧栄町3丁目交差点。50年前の276号線はこの交差点を左折れして苫小牧駅近くを通過して札幌、支笏湖へと続いていました。昔と同じようにバイクを並べて写真を撮ろうとはしましたが広がった道を高速で車が行き交い危ないので歩道からの写真となりました。写真右の北海道拓殖銀行は今はありませんが建物は風情を残して写真左のように使われています。



北海道 豊浦の大岸駅のすぐ西。内浦湾の海辺。右は50年前。左は今回。落石防止のため落とせるものはすべて落とし、その後に金網をかぶせてある。まあなくなって迫力は激減。でも打ち付ける荒波は50年前のまま。



北海道宗谷岬「日本最北端の地」のモニュメント。右は50年前の碑。ごろごろ石をただ積み上げてあるだけだった碑が近代的に変わっていました。しかしオホーツク海や荒涼とした眺めは昔のまま。



パソコンクラブ



パソコンクラブの紹介・会員募集

モットーは『優しく』と『親切』です。

●入会案内



入会金：不要です。

年会費：2,000円

但し新規入会者は、初年度のみ1,000円とします。

定例会：毎月第一水曜日 午前10時～12時（社友会室にて）
パソコンに関する情報交換や研修会の日程・懇親会の開催に
関して相談を行います。

研修会：毎月第三水曜日 午前9時半～12時（社友会室にて）
会員同志が気楽に最近の話題をはじめ、PCの知識と技量を
深める場として、主に「Excel/Word/インターネットの活用方法」
について教え合い、実技練習をしています。

懇親会：年末に一泊で懇親忘年会（カラオケ同好会と合同）を実施します。

見学会：上記の研修会の見学は何時でも大歓迎です。

見学会にお越しの時は、日程通り実施されているか、事前に
事務局まで確認して下さい。

●入会申し込みと問い合わせ先

事務局：佐藤壽行 < 電話 > 0287-44-3377

< メール > sato64_hodaka82@yahoo.co.jp

パソコンに興味のある方の入会をお待ちしております。



WALKMAN



iPod



音楽・写真・インターネット
ウイルス対策・メール・データ送信



ウイルス対策



< 会員の紹介 >

会 員 名 簿

2012. 11. 07 現在（あいうえお順）

1	会 長	仲谷輝郎	5	青木正和	9	津田 功	13	平山 勝
2	副会長	古市正昭	6	浦川正司	10	徳田 浩	14	廣田哲男
3	事務局	佐藤壽行	7	木村 正	11	中村義雄	15	福本英之
4	会 計	安東郁哉	8	佐藤龍雄	12	日置久義	16	山崎一義

ゴルフ同好会



◇平成24年度前半の活動状況

本年度のゴルフ同好会コンペは、当初計画通り5月より開催し、現在まで下記4回のコンペを開催致しました。
会員数は、2名の退会がありましたが、6名の新規会員増があり、合計87名と活性化の方向にあります。
同好会では、引き続き会員相互の親睦と健康増進を通じてに楽しいゴルフの推進を図って参ります。

1.定例コンペ	第 82 回 * 1	第 83 回	第 84 回	第 85 回
2.開催日	5 月 28 日(月)	7 月 30 日(月)	10 月 31 日(水)	12 月 3 日(月)
3.開催コース	大日向 CC	喜連川 CC	那須小川 GC	那須野ヶ原 CC
4.参加人数	42 名	54 名	43 名	54 名
5.入賞者(ネット) 競技は全てハンディキャップ方式で実施				
優勝	河越泰博(30.5)	飯田晋吉(66)	滝口一彦(65)	原田博美(66)
準優勝	鈴木和平(32.0)	阿部修一(68)	郡司一也(67)	穴戸 栄 (67)
3位	小川廣志(32.0)	生嶋良幸(70)	横田慎二(69)	川村 昇 (67)
4位	岡本純一(32.5)	成瀬常明(70)	山口英吉(70)	山口英吉(69)
5位	岩村 博 (32.5)	小阪正美(71)	日置久義(71)	徳田義文(70)
ベストグロス	河越泰博(東 37) 松内幸男(中 40)	飯田晋吉(東 78) 網野正輝(南 82)	和田元良(80)	徳田義文(77)

* 1 雷雨によりハーフコンペに短縮して実施。

<第83回 喜連川カントリー倶楽部 スタート前の集合フォト>



◇平成24年度後半の定例コンペ日程

定例コンペ	開催予定日	開催コース	備 考
第 86 回	平成 25 年 3 月	未定	別途案内

《新会員募集》

*入会金：無料、年会費：無料

*定例コンペ：年間 5回 5月、7月、9月、11月、3月

*連絡先：幹事 松内幸男 ☎ :0287-43-6153

eメール :matsuuchi.yukio@wind.email.ne.jp

歩こう会

◆歩こう会の案内

- ◇県内又は近県の山、溪谷、湿原等の景勝地への
日帰りトレッキング
- ◇定例会として難易度が初心者向き、一般向きの
コースで年6回実施。歩行時間3～4時間程度。
- ◇コース開拓と会員のレベル向上を目指し、やや難易度を上げた有志でのトレッキングを適時実施。



◆活動状況

☆8月有志例会 西穂高岳 独標（参加：7名）



☆11月定例会 鬼怒川 龍王峡（参加：17名）



◆平成24年度 例会実施状況

☆定例会として隔月に6回実施

☆有志例会は適時計画

定例会	実施月日	行先	備考
第80回	平成24年5月20日（日）	栃木県 鹿沼市 古峰ヶ原高原	栃木百名山
第81回	7月22日（日）	山梨県 甲州市 大菩薩岳	日本百名山
第82回	9月23日（日）	栃木県 日光市 竜頭ノ滝～西の湖	
第83回	11月10日（土）	栃木県 日光市 龍王峡～川治	
第84回	平成25年1月20日（日）	茨城県 常陸大宮市 鷲子山/神社	新年懇親会
第85回	3月24日（日）	栃木県 足利市 石尊山～深高山	栃木百名山
有志例会	平成24年5月 8日（土）	栃木県 日光市 鳴虫山	〃
	6月30日（土）	福島県 南会津町 田代山～帝釈山	
	8月23日（木）	長野県 松本市 上高地	山岳景勝地
	～24日（金）	岐阜県 高山市 西穂高 独標	日本百名山
	10月20日（月）	栃木県 日光市 金精山～前白根山	栃木百名山
	12月 1日（土）	茨城県 大子町 奥久慈男体山	

◆会員の募集：歩こう会幹事まで連絡ください。年会費2,000円（10月以降の入会は1,000円）

◆現状会員数：会員人数30名

●連絡先 松本 隆 TEL 0287-63-6458 / 090-3906-9193
e-mail fgysk613@yahoo.co.jp

カメラクラブ



◆ 撮影会を実施

8月8日 矢板市おしらじの滝

・貝増弘行



・撮影会参加者



10月27日 福島県矢ノ原湿原の紅葉

・廣島好美



◆『矢板の四季』観光写真コンテストに入賞！

第31回『矢板の四季』観光写真コンテストに社友会カメラクラブから応募して、入選、佳作にそれぞれ入賞しました。

入賞作品は 11月3日に開催された『つつじの郷矢板ともなまつり』会場に展示され、会場で表彰されました。

- ・入選：『春の散歩路』 只友将弘
- ・入選：『光のカーテン』 田代宏明
- ・佳作：『惜秋』 志賀 実

※入選の2作品は裏表紙に掲載しました。

佳作：『惜秋』 志賀 実



◆大田原佐久山地区 風物詩写真展

優秀賞：『秋高く』 志賀 実



◆「フォトコン」取材フォトの部

入選：『ライバル同志』 志賀 実



◆「デジタルカメラ」デジタルフォト部

佳作：『湖上の贈り物』 志賀 実



◆宇都宮第21回自然の緑コンテスト

優秀賞：『恋の季節』 田代宏明



◆鹿沼観光写真コンクール

準特選：『大樹満開』 田代宏明



◆矢板市兵庫畑の棚田 写真コンテスト

佳作：『棚田のカカシ』 村井敏一



《 新会員募集 》

◆連絡先 幹事： 只友将弘

TEL 090-3248-7309

◆入会金： 無し

e-mail nasu-tada.masa@docomo.ne.jp

◆年会費： 3,000円



カラオケ同好会

< 入会申込・問合せ先 >

会 長 : 福永 勝行
(TEL) 0287-44-1109
事務局 : 青木 正和
(TEL) 0287-44-1332

♪♪ 新規会員 募集中 ♪♪

一昨年の東日本大震災では、津波で自宅が崩壊し、日常が無くなってしまおうと云う悲惨な光景に、啞然とした多くの被害者が出たことです。同じ日本人として、東北の皆さんへエールを送り続けることを忘れてはなりません。

カラオケ同好会も6年目を迎え、会員諸氏の実力も徐々にレベルアップしてきました。1曲目より2曲目、歌い続けることによって、自分の知らない間にカラオケ機器の得点が増える歓びを、会員一同、手ごたえを感じ取っています。歌い続ける為には、健康な体力の維持が不可欠です。簡単な様ですが、会員諸氏は、皆、優秀な健康体の持主です。歌以外の自慢話も聞けますヨ！

若返りの為にも、勇気をもって人前で歌うことの楽しさを味わいましょう。新規入会者が気楽に参加されることを、会員一同、心から歓迎致します。歌に定年はありません。

体験参加も可能で、しかも、入会金、年会費は不要です。



11月度 定例会参加者



11月 コリーナ矢板にて



12/4 合同忘年会参加者

< 定例会活動状況 >

実施日	実施場所	参加者数
7/10	コリーナ矢板	8名
8/21	カラオケ BanBan	10名
9/11	カラオケ BanBan	10名
10/9	カラオケ BanBan	8名
11/13	コリーナ矢板	11名
12/4~5	鬼怒川グリーンパレス	10名
12/11	コリーナ矢板	10名



♪♪ カラオケ好きの皆さんへ ♪♪

カラオケ採点機能で満点にチャレンジしてみませんか！
まだ、満点を出した事は、ありません。

『 今迄の最高得点 』

98点 / 100点満点

99.5点 / 100.0点満点

< 同好会会員 >

福永勝行	青木正和	城本 昭	古市正昭	村上五十六	島田次秀	三堂地時臣	手島正典	津田 功
安藤八郎	佐藤壽行	丸渕孝文	山本正和	津久井秀一	徳田 浩	浦川正司	郡司忠一	福本英之
細川美生	小倉麗子	古市和子	泉口トシエ	村上サダ子	笹原幸子	大野信子		《計》25名

新入会員紹介

(平成二十四年四月一日)

二十四年九月末入会者



会員番号 五八〇七
黒川 健一

一九五二年四月二十八日生

四月に定年退職し社友会に入会させていただきました。

直近はマレーシアで約八年、CRTを担ぎアフリカ等に足を延ばしたりもしました。

退職後は体力維持にスポーツ車で走ったり、講演会や展示会で世のトレンドを感じる等、まずは充電というところではあります。

今後とも宜しくご指導ご厚誼の程お願いいたします。



会員番号 五八三六
及川 健一

一九五一年五月十二日生

定年後、専門社員一年勤務再延長は叶わず、この五月に退職しました。

最近、街中でお会いする先輩方が皆エンジョイしている様子や「nikko」を拝見し、社友会の仲間入りを実感しております。

社友会の皆様には、在職中いろいろとお世話になりましたが今後共、宜しくお願い致します。



会員番号 五八五四
太田 幸三

一九五二年六月十三日生

去る六月、十二年間の液晶関連事業部門での単身赴任を終え、定年退職となり社友会栃木支部に入会させて頂きました。

この十二年間も含め海外事業・開発・品質・営業等々の部門で種々業務を担当させて頂きました事に感謝致しております。

社友会 諸先輩方には何かとお世話になるかと思いますが宜しくお願い申し上げます。

社友会 諸先輩方には何かとお世話になるかと思いますが宜しくお願い申し上げます。



会員番号 五八五六
田代 清

一九四八年六月五日生

きました。

退職後は健康のために、夏場は午前三時四十分、現在では寒くなってきましたので五時半に起床し、約七キロを一日も欠かさずウォーキングに励んでおります。

今後健康に留意し、社友会の皆様とともに元気に頑張りたいと思います。何卒ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。



会員番号 五八七〇
石川 恵一

一九五二年七月十日生

七月の定年退職後、自分にご褒美と大好きな大型バイクで秘境地温泉や登山にと一気に駆けずり回って来ました。東の間の癒しの時は短く八月末に再就職(中国上海)が決まり十月に赴任しています。

又どこかで諸先輩の方々とお会いしましたら宜しくお願い致します。



会員番号 五八七九
近藤 均一

一九四九年七月二十日生

平成二十一年に定年を迎え、更に三年間専門社員として勤務させて頂き、平成二十四年七月に退職し社友会に入会させていただきました。

今後は健康維持に努め有意義に人生を楽しもうと思っています。社友会の皆様方には何かとお世話になります。宜しくお願い申し上げます。

☆ 写真・メッセージをいただけなかった皆様は
会員番号、氏名、生年月日のみ紹介いたします。

会員番号	氏名	生年月日
五八二五	細田 清	一九五二年五月一日
五八二六	佐伯 太祐	一九五二年五月十七日
五八三七	新津 寛	一九五二年五月二十日
五八五五	関谷 一利	一九四九年十二月二九日

今年の春は可憐な花の咲く 近々の名所へ出掛けませんか

◆カタクリ群生地

【場所】那珂川町 三輪 七四五・一

【見頃】三月下旬～四月中旬

・カタクリ山公園は、八溝県立自然公園内に位置。
自然豊かな雑木林3haの中、百万株におよぶ
関東最大規模を誇るカタクリの群生が斜面を埋
め尽くします。ザゼンソウ・シヨウジヨウバカ
マ・水芭蕉も楽しめます。

◆イワウチワ群生地

【場所】那珂川町 富山地区 舟戸

【見頃】三月下旬～四月上旬

・イワウチワ群生地（およそ千㎡）は個人の山林
ですが、富山地区の皆さんがボランティアで整
備されています。イワウチワが咲く季節は現地
に近い道路沿いに案内看板やノボリが出ます。
軽ハイキングの服装で行かれると良いでしょう。

◆クリンソウ群生地

【場所】日光 中禅寺湖 千手が浜

【見頃】六月中旬～下旬

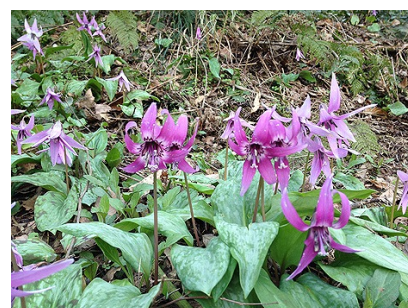
・クリンソウ（サクラソウ科）群生地へは自家用
車が乗り入れ禁止で行けませんので、戦場ヶ原
のビジターセンターのある赤沼から低公害ハイ
ブリッドバスを利用するか、竜頭の滝近辺の駐
車場に停めて菖蒲が浜から中禅寺湖畔を二時間
ほどハイキングし、千手が浜へもお勧めです。



クリンソウ



イワウチワ



カタクリ

“長寿” おめでとうございます

（対象期間 H24.4.1～H24.9.30）

喜寿			
759	山崎	一義	8月20日
910	古川	孝	9月12日
古希			
2280	栗田	雄二	4月10日
2309	登地	章	5月20日
2310	細川	美生	5月29日
2316	梶原	祥宏	6月4日
2334	初鹿	謙治	7月4日
2353	赤松	則之	7月18日
2375	西尾	順三	8月2日
2377	中山	弘一	8月14日
2390	今西	淳祐	8月25日
2391	後藤	謙輔	8月27日
2403	福山	和夫	9月9日

表紙説明 （写真は「日光並び地蔵」）

「並び地蔵」は「化け地蔵」「百地蔵」とも云われ、日光
田母沢御用邸記念公園近くの大谷川沿いの含満ヶ淵（憾満
が淵）（かんまんがふち）にある慈雲寺境内にあります。
慈眼大師天海の門弟が彫ったもので、当時は百体ほどが
あったという。明治三十五年の大洪水で流失し現在は約七
十体の地蔵群が一行に並んでいる。（撮影 山口重二）

編集後記

会報「nikko」はお蔭さまで第31号を発行できる
運びになりましたが、会社は極めて厳しい経営環境下に
置かれている状況にあり「秋の懇親バス旅行」が中止に
なるなど掲載予定記事が些か少なくなっていました。
しかし、長寿を迎えられた諸先輩方や新会員諸氏から
お寄せ頂けた近況など「元氣」を貰える内容も沢山あり
第31号に掲載された記事が会員相互を結ぶ「かけ橋」の
一助となれば嬉しいなと思っています。（荒田英治）

栃木支部 SGC 活動・矢板市の川崎城跡草刈り(平成 24 年 10 月 7 日)



栃木支部・役員会実施風景(平成 24 年 11 月 13 日)



栃木支部・幹事会実施風景(平成 24 年 11 月 19 日)



栃木支部カメラクラブ・「矢板の四季」観光写真コンテスト入賞作品

入選：「春の散歩道」只友将弘さんの作品



入選：「光のカーテン」田代宏明さんの作品

